

ひいかわ かんどがわ
斐伊川・神戸川
流域環境マップ

2021 報告書

世界を
描きなおす
あなたの
発見!



河川基金

2022年2月

主催：NPO法人しまね体験活動支援センター
共催：島根県中山間地域研究センター
主幹：斐伊川・神戸川流域圏小・中学校他

この事業は（公）河川財団の河川基金助成事業、（一社）中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受けています。

宇宙から見た斐伊川・神戸川流域

撮影衛星：Terra/ASTER

解像度：15m

撮影日：

・出雲部 2003/4/10

・石見部 2001/4/4

衛星画像処理：作野 裕司
(広島大学大学院工学研究科)

ASTERは可視光の赤波長，緑波長，そして近赤外波長，合計3波長の画像を撮影しています。この画像は3波長のASTERデータを使って，自然色になるよう合成してあります。

も く じ

はじめに	2
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要	4
2021年度の活動	13
春の指導者研修会	14
2021年 夏休み親子で宍道湖水質調査報告	15
第15回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会報告	17
調査について	19
Web-GISでのマップづくり	21
調査参加校等一覧	22
調査参加校等マップ	23
指導教員対象アンケートの結果	24
学校からの報告	26
春・夏の調査地点	39
春の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	40
春の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	41
秋の調査地点	42
秋の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	43
秋の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	44
調査風景	45
総合分析マップ	47
きれいな水にすむ生き物	50
ややきれいな水にすむ生き物	56
きたない水にすむ生き物	61
とてもきたない水にすむ生き物	65
きれいな水・ややきれいな水の両方にすむ生き物	68

はじめに

15年目の斐伊川・神戸川流域環境マップづくり

NPO法人しまね体験活動支援センター 理事長 青木 充之

2021（令和3）年度、斐伊川・神戸川流域環境マップづくりも節目となる15回を数えました。今年も、新型コロナウイルス禍での活動となる中で、11の小中高、1公民館述べ379名の参加者で河川環境マップづくりの調査活動を実施してきました。

また、夏には15回記念事業として、親子を対象として、宍道湖遊覧船はくちょうⅢ号で出かけて夏の宍道湖の水質や生息する底生生物等の環境調査体験イベントも実施しました。

第15回目となる斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会は、参加校やその関係者、保護者等67名が集い、11月20日（土）の午後2時から出雲科学館で実施しました。

発表校は、奥出雲町立阿井小学校（4名）、出雲市立多伎小学校（19名）、飯南町立頓原小学校（10名）、出雲西高等学校インターアクトクラブ（4名）（発表順）でした。新型コロナ禍にもかかわらず、入念な準備が行われ、それぞれ趣向を凝らした立派な発表が行われました。その様子は、島根日日新聞紙面にも掲載されました。また、NPO法人しまね体験活動支援センターのホームページにも発表の様子が掲載してあります。（URLは<http://ss527081.stars.ne.jp/>、「しまね体験活動支援センター」で検索する）

来年度以降も、この事業を継続してまいりたいと考えています。

今後とも、皆様方のさらなるご支援、ご協力を節にお願い申し上げます。

「地域への愛着をもつ人材を育成する取り組みとして期待」

島根県中山間地域研究センター 所長 吾郷 朋之

「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」は、当センターが平成14年度からGIS（地理情報システム）を活用した地域づくりの一環として取り組んだ「参加型Web-GIS」事業の第1号モデルとして始まり、今年度で20年目を迎えました。

また、NPO法人しまね体験活動支援センターとの共催となり、調査範囲を神戸川流域から斐伊川流域に拡大してからは、15年目を迎えました。

長きにわたりこの取り組みが継続できているのは、調査に参加してこられた歴代の児童、生徒の皆さん、保護者の皆さん、ご指導いただきました先生や地域の皆さん、ご協力いただきました国土交通省をはじめとする関係機関の皆さんの熱意の賜であると、敬意を表するとともに厚く御礼申し上げます。

最近のトピックスとして、令和3年12月に上智大学の留学生グループが神戸川流域の水質調査の一環で当センターを訪問した際に、これまでの水質調査の成果をまとめた資料を提供し活用してもらいましたが、この取り組みには、上記のように水質データを蓄積していく役割があるほか、学術的な河川調査をきっかけとして河川の保全活動について考えてもらうなど、子どもたちに環境学習の場を提供する役割、更には、学習を通じて地域の自然の豊かさや環境のすばらしさを保護者や地域の皆さんと一緒に体感してもらい、地域に対する興味関心を高め、もって地域への愛着を育んでももらう役割も果たしているものと考えています。

今後も、この取り組みを通じて、参加した多くの子どもたちが、地域への愛着を育み、やがては地域を支えていく人材として成長されていくことを期待しています。

流域全体での河川環境の保全活動に向けて

国土交通省 出雲河川事務所長 武内 慶了

この活動に参加されました皆様、そして、河川環境の保全活動を継続されているNPO法人しまね体験活動支援センターの関係者の皆様に敬意を表します。より広い地域の方々へ、河川環境の保全とそのため取組の大切さが浸透していくことを願います。

流域とは、地上に降った雨が、川に流れ集う範囲を言います。この川とその周辺の地域との関わりは、普段は気づきにくくなっていますが、地域の営みに大きな影響を与える事があります。特に近年、降雨の激甚化に伴い全国各地で被災が発生しているのも一例です。私たちは普段から、水の恩恵を様々に受けていますが、その水がどこからどこへ流れ、どんな状態なのかを知っておくことは、昔から、その地域に住むものにとって、重要な事でした。

近代になり、普段の生活の中で、水は蛇口から出て、排水は下水へ流すという生活様式になり、水の源や行き先が気になりにくい時代になり、河川環境がだんだんと失われることになっていきました。かつて、そこにはどんな生き物がいて、どんな水が流れていたのだろうかを、今となっては知る術も無いことの方が多くなっています。

これから、持続可能な河川環境を見い出して保全していくためにも、流域に棲む生き物や人々のことを一緒に考えていかなければ、多くの良好な河川環境を失って行くのでは無いかと懸念されます。そうならないためにも、この活動が継続し地域の大切な河川環境が保全されるよう、一緒に進めていけることを願います。

地域資源から学ぶことの大切さ

出雲市教育委員会 教育政策課 社会教育係 森脇 淳志

令和3年度「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」が、NPO法人しまね体験活動支援センター及び島根県中山間地域研究センターの皆様方のご尽力により開催されました。今年度、4校の児童生徒の皆さんが、各学校の先生方や地域の方等と一緒に取り組んだ河川調査や環境保護活動の取組を発表されました。中には10年近く続いている活動の紹介もあり、継続することで多くの方が関わる活動に発展している取組もありました。

全ての取組において共通していたことは、児童生徒の皆さんが地域の河川や湖の水質調査や清掃活動を行い、体験をとおして分かったこと、考えたことを地域の方や関わる方に伝えていたことです。児童生徒の皆さんが、地域の素晴らしい自然環境から学び、今後の生活に生かそうとするだけでなく、それぞれの地域で学びの成果を広げていることを頼もしく思いました。

また、児童生徒の皆さん一人一人が様々な取組をとおして、地域の「ひと・もの・こと」に積極的に関わり、地域のよさを改めて実感することができていました。さらに、学んだことを生かして、環境を守るボランティア活動へ参加するなど、地域への貢献意識を高めていることに感心しました。

このように、本取組は児童生徒の皆さんが地域での環境学習をとおして自分たちの生活について関心を高め、地域のために何ができるのかを考え、行動することにつながる取組です。本取組が継続されることで、地域の素晴らしい自然環境を地域全体で大切にしていく機運が醸成されるとともに、それぞれの活動がより一層充実することを期待し、ご挨拶いたします。

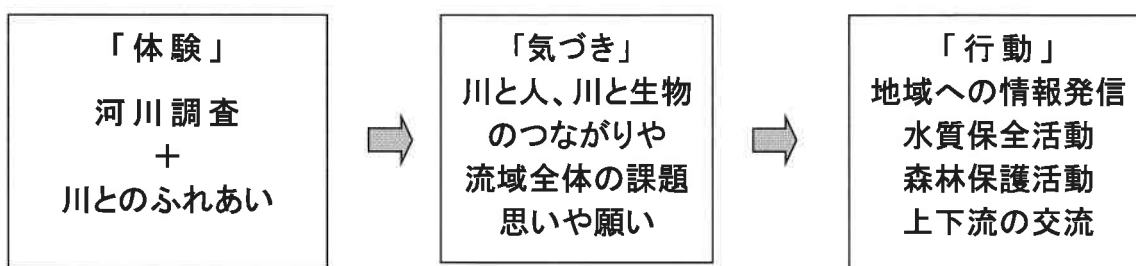
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要

◆ねらい

ふるさと学習を通じての「ふるさとを愛する人づくり」の一環として、また、流域全体の河川環境学習の一環として、2002年から神戸川を活用した「川の環境マップづくり」に取り組んできました。平成19(2007)年からは、斐伊川流域まで範囲を拡大して河川環境マップづくりを行いました。

川での調査体験活動の取り組みと、そこから感じられた様々な気づきや地域環境への願いなどを子ども達が流域全体に情報発信していきます。

ふるさとを愛する人づくり・河川環境学習の推進



◆実施機関

主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小中学校（2市2町の小中学校等が対象（2021年度））等

共催：島根県中山間地域研究センター

ひいかわ

◆斐伊川の概要

源流：島根県・鳥取県の県境船通山（標高 1,142.5m） 延長：約 153km

流域は、上流から宍道湖に流入する斐伊川本線流域と、汽水湖である宍道湖の流域、中海の流域の3つに大別されます。斐伊川は典型的な砂河川で、全国でもまれな「天井川」として知られています。上流部では昔「たたら製鉄」が行われていました。宍道湖・中海については比較的浅く、また日本海との平均水位差が数 cm～数 10cm と小さいため、淡水と海水が入り混じった「汽水湖」で、西日本最大級の冬鳥の飛来地としても有名です。

かんどがわ

◆神戸川の概要

源流：飯石郡飯南町南端女亀山（標高 830m） 延長：約 82km

神戸川は流域の約 80%が山地で、川は『出雲国風土記』にも登場し古来から親しまれています。斐伊川神戸川治水（合流）事業により飯南町には志津見ダムが完成、下流部出雲市では 2013 年に斐伊川放水路工事が完成し洪水時に分水が開始されました。2006 年 8 月 1 日からは神戸川は1級河川に指定され、斐伊川流域に編入されました。

◆参加校等（公民館含む）

飯南町 【小学校】 赤名、頓原、志々

出雲市 【小学校】 神戸川、みなみ、須佐、多伎
【中学校】 佐田 【高等学校】 出雲西

雲南市 【小学校】 大東

奥出雲町 【小学校】 阿井 【公民館】 布勢公民館

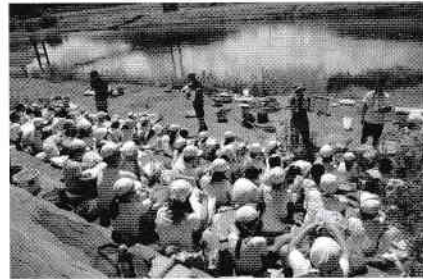
◆内容

- ①調査期間を春と秋にそれぞれ約1ヶ月設けます。
- ②各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質（pH、COD）などを調査します。
- ③指標生物を分析し、種類・数から水質判定します。
（国土交通省・環境省の指標を採用）
- ④調査地点ごとに調査結果（指標生物数、感想、写真など）を、各学校からインターネットを使って島根県の運営するマップ on しまね～島根県統合型 GIS～のホームページに入力します。
- ⑤流域全体の河川環境マップが完成します。

公開先 **島根県ホームページ**

「マップ on しまね(島根県統合型 GIS)」

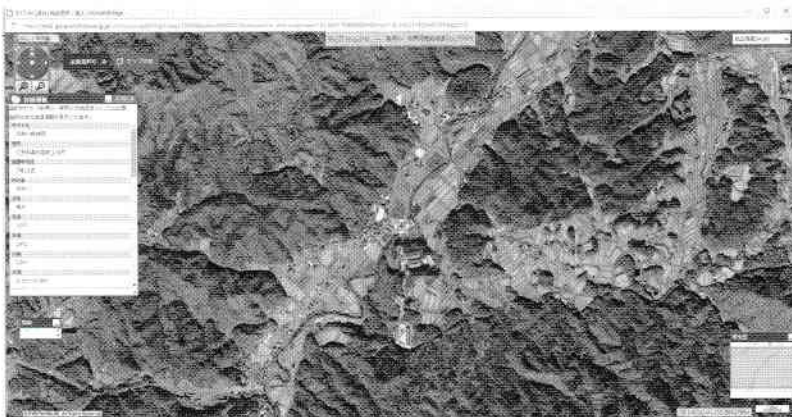
参加型マップ／斐伊川・神戸川流域環境マップ




↑川に入って生物探し



↑水生昆虫識別中



（上）各学校から入力された情報で完成した斐伊川・神戸川流域環境マップの画面。地図のをクリックすると調査結果や感想、写真などを見ることができます。

※その他、源流や河口への見学、流域全体の水質調査、川のゴミ拾いやゴミの分類調査、水質浄化の取り組みを冊子にまとめ配布する活動、ホタル調査やホタル学習、地域で河川調査の成果を発表する活動などを実施している学校や公民館もあります。

◆協力機関

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会、島根県、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、飯南町教育委員会、奥出雲町教育委員会、島根地理学会、公益財団法人島根県環境保健公社、島根県立宍道湖自然館ゴビウス他


◆これまでの活動

2002年の中から通算47回、のべ15,871人もの子どもたちが参加しました。

調査時期	参加校等	参加者	調査地点	調査期間	統一調査日	
H14	秋	29	1108	54	9/11～10/11	9/12
H15	春	18	985	34	5/26～6/20	6/5
	秋	28	1135	58	9/2～9/30	9/18
H16	春	24	810	48	6/1～6/30	6/9
	秋	13	396	29	9/1～9/30	9/9
H17	春	14	633	31	6/1～7/15	7/7
	秋	17	501	47	9/1～9/30	9/9
H18	春	12	261	16	6/6～7/7	6/12～6/16
	秋	11	379	17	9/4～10/4	9/11～9/15
H19	春	28	226	18	6/4～7/13	なし
	秋	14	400	13	9/3～10/5	なし
H20	春	17	386	29	5/27～7/18	なし
	秋	16	490	23	9/1～10/10	なし
H21	春	23	478	29	5/28～7/18	なし
	夏	5	75		7/19～8/31	なし
	秋	24	711	24	9/1～10/25	なし
H22	春	11	206	16	5月～7月	なし
	夏	9	189		7月～8月	なし
	秋	20	610	23	9月～11月	なし
H23	春	14	301		5月～7月	なし
	夏	8	127		7月～8月	なし
	秋	17	378		9月～11月	なし
H24	春	14	241		5月～7月	なし
	夏	10	207		7月～8月	なし
	秋	13	305		9月～11月	なし
H25	春	9	178		5月～7月	なし
	夏	10	259		7月～8月	なし
	秋	12	278		9月～11月	なし
H26	春	9	262		5月～7月	なし
	夏	7	97		7月～8月	なし
	秋	10	176		9月～11月	なし
H27	春	11	225		5月～7月	なし
	夏	4	43		7月～8月	なし
	秋	11	231		9月～11月	なし
H28	春	7	168		5月～7月	なし
	夏	6	122		7月～8月	なし
	秋	8	206		9月～11月	なし

H29	春	9	193		5月～7月	なし
	夏	6	67		7月～8月	なし
	秋	9	228		9月～11月	なし
H30	春	8	144		5月～7月	なし
	夏	6	185		7月～8月	なし
	秋	6	104		9月～11月	なし
R1	春	8	164		5月～7月	なし
	夏	2	28		7月～8月	なし
	秋	9	282		9月～11月	なし
R2	春	3	40		5月～7月	なし
	夏	5	57		7月～8月	なし
	秋	8	217		9月～11月	なし
R3	春	8	141		5月～7月	なし
	夏	4	45		7月～8月	なし
	秋	7	193		9月～11月	なし

◆主なできごと

H14 (2002) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・赤来町・頓原町・佐田町・出雲市・大社町の小中学校 29 校でスタート ・9 月、Web-GIS の第 1 号プロジェクトとして第 1 回調査・マップへの入力を開始 	
H15 (2003) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸川流域環境学習推進協議会を設立 ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・新たに多伎町・掛合町が加わり、計 33 校が参加 ・調査を春と秋の 2 回実施することを決定 ・横断幕、のぼりを作成し配布 ・2 月 21 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター) 	
H16 (2004) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・8 月 7 日「水環境フェア 2004in 新潟」で中国地区の代表として発表 ・10 月 28 日「河川整備基金助成事業成果発表会」(東京)で発表 ・源流/河川ツアーやゴミ拾いなど流域での活動が活発になる ・2 月 19 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター) 	
H17 (2005) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯南町立谷小学校、小田小学校が閉校 ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・(社)日本河川協会平成 17 年度通常総会において、河川功労者表彰を受ける ・市町村合併により、出雲市・雲南市・飯南町の 3 市町となる ・11 月 12 日源流ツアー&成果発表会を開催(飯南町 ふれあいホールみせん) ・学校交流、源流・河口への見学、学校から離れたところの調査などが活発になる 	

H18 (2006) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・雲南市吉田小学校が加わり、対象校は32校に ・7月16日～19日にかけての大雨で神戸川が氾濫し、浸水被害などが発生 ・8月1日 斐伊川流域への編入、神戸川は1級河川に ・8月7, 8日「水環境フェア 2006in 松江」開催 ・8月14日～17日「東アジア環境教育ミーティング」で神戸川を視察 ・2月(財)日本河川環境管理財団発行の『水辺から学ぼう』第5号市民団体活動事例集に神戸川流域環境学習推進協議会の学校教育支援活動が4ページに渡って紹介され、全国に配布される
H19 (2007) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸川流域環境学習推進協議会などが母体となって2007年2月に設立された「NPO法人しまね体験活動支援センター」が事業の主催者となる ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・神戸川の災害復旧工事が進行し川のにごりが続く ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川で開催 ・5月 第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時33校参加 ・「平成18年度の神戸川流域マップづくり」が河川環境管理財団の『平成19年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(採択件数351件の内45件) ・11月23日(祝)「第1回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し6校が発表(出雲科学館) ・国土交通省出雲河川事務所の「川の語りべ」候補者調査に協力
H20 (2008) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時28校と1公民館参加(公民館の参加は初) ・11月 「神戸川史」作成のため「未来に神戸川の歴史を伝える会」発足 ・11月22日(土) 出雲科学館において「第2回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校1校、公民館1館が発表
H21 (2009) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、(財)しまね自然と環境財団のふれあい環境助成金の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始(環境学習施設初参加) ・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第3回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校3校、中学校2校、環境学習施設1館が発表 ・2月22日 神戸川史作成協議会が未来に神戸川の歴史を伝える「神戸川史」を発刊し、その中で2ページを使って斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを紹介

H22 (2010) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)しまね自然と環境財団「ふれあい環境助成金」、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」、全労済「2010年全労済地域貢献助成事業」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(火・祝) 出雲科学館において「第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立来島小学校の3校が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも放映される
H23 (2011) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 中国地方地域づくり等助成事業報告会(広島市)で取り組みを発表 ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において流域全体で取り組む河川環境保全活動「第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会の3校と1団体が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも発表の様子が放映される
H24 (2012) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、一般財団法人セブンーイレブン記念財団「2012年度公募助成」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 (社)日本河川協会より河川功労者表彰を受賞 ・9月 島根県主催「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で河川環境マップづくりの取り組みと水質の変化及び水質改善に関する意見を発表 ・11月23日(金・祝) 出雲科学館において「第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立須佐小学校、雲南市立吉田小学校、飯南町立志々小学校、奥出雲町立阿井小学校の4校が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道される ・12月 「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で意見発表
H25 (2013) 年度	<ul style="list-style-type: none"> (公)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月 (公)河川財団より『平成25年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(応募364件、採択件数283件の中から選定) ・11月23日(土・祝) 出雲科学館において「第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立朝山小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立頓原小学校、奥出雲町立八川小学校の4校が発表 ・11月末 島根日日新聞、山陰中央新報に成果発表会の様子が報道された参加学校数18、公民館1、延べ参加者数715人

<p>H26 (2014) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(日・祝) 出雲科学館において「第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、奥出雲町立三沢小学校、出雲西高等学校、奥出雲町立布勢公民館の3校と1公民館が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された <p>参加学校数 16(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 535 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月 国土交通省(出雲河川事務所)の河川協力団体として登録
<p>H27 (2015) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川助成事業、全労済の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 河川協力団体として活動を開始する ・6月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、出雲市立神戸川小学校、雲南市立西日登小学校の3校が発表 ・11月24日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された <p>参加学校数 16(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 499 人</p>
<p>H28 (2016) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校が発表 ・同日同会場において斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 10周年を記念して、約130名が参加し「斐伊川・神戸川子どもシンポジウム」を開催した ・11月27日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された <p>参加学校数 14(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 496 人</p>
<p>H29 (2017) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 (一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業報告会」(広島市)で発表。敢闘賞を受賞 ・11月公益財団法人河川財団より平成 28年度助成事業「川づくり団体部門」優秀成果表彰団体に選出される ・11月23日(木・祝) 出雲科学館において「第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立大社中学校科学部、雲南市立大東中学校、出雲西高等学校インターアクトクラブが発表 ・11月25日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・1月「平成 28年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)で発表 <p>参加学校数 13(高等学校 1 含む)、公民館 1、延べ参加者数 488 人</p>

<p>H30 (2018) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月24日(土) 出雲科学館において「第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立神戸川小学校、出雲市立鱒淵小学校、奥出雲町立阿井小学校が発表 ・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・12月16日 国土交通省よりの優れた地域づくり活動に与えられる「手づくり郷土賞」を受賞し、東京国際交流館プラザ平成で行われた記念発表会に参加 ・1月「平成29年度 川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)のポスターセッションで河川環境マップづくり事例発表 ・2月出雲市役所で行われた国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」授与式に参加 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数433人
<p>R1 (2019) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・10月公益財団法人河川財団より平成30年度助成事業「川づくり団体部門」の優秀成果表彰団体に選出される ・11月24日(日) 出雲科学館において「第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立鳥上小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立布勢公民館が発表 ・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・2月「平成30年度 川づくり団体全国事例発表会」(東京大学山上会館)「川づくり団体部門」優秀成果団体表彰式に出席しポスターセッションで河川環境マップづくりの取り組み事例を発表 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数474人
<p>R2(2020) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、『しまね社会貢献基金』活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を初めて開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者は5組13名で開催 ・11月21日(土) 出雲科学館において「第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立志々小学校、雲南市立大東小学校、出雲市立佐田中学校の3校が発表 ・11月下旬 山陰中央新報・島根日日新聞と出雲ケーブルビジョンで成果発表会の様子が報道された 参加学校数12(高等学校1含む)、延べ参加者数314人

<p>R3(2021) 年度</p>	<p>(公)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう!」夏休みに親子水質調査体験活動を開催 日程変更のため参加者は4組8名で開催 ・11月20日(土) 出雲科学館において「第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立阿井小学校、出雲西高等学校の4校が発表 ・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された <p>参加学校・公民館数 12(高等学校1、公民館1含む)、延べ参加者数 379人</p>
------------------------	--



夏休み親子水質調査体験活動 宍道湖環境調査

島根日日新聞

令和3年(2021年)11月24日(水曜日)



成果を発表する多伎小の児童たち=20日、出雲市今市町の出雲科学館

地域の環境を探究

多伎小など4校が発表

出雲

斐伊川・神戸川流域にある小中学校が水質や生き物調査の成果を発表する第15回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会が20日、出雲学館(出雲市今市町)であり、参加した児童・生徒が調査結果を発表し、活発な意見交換が行われた。

斐伊川・神戸川流域マップは、NPO法人しまね体験活動支援センターと県中山間地域研究センターが、流域にある小中学校などが実施する河川環境調査をまとめて作成しているを発表した。

この日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より発表人数を減らしたほか、会場の換気など感染対策のもと実施した。また、多伎小の児童は、希少生物も多い出雲西高校、出雲市立多伎小学校、飯南町立頓原小学校、奥出雲町立阿井小学校の児童・生徒、保護者など合わせて67人が参加した。

発表後、意見交換を兼ねて、環境の素晴らしさ、地域の魅力を共有した。

島根日日新聞掲載記事